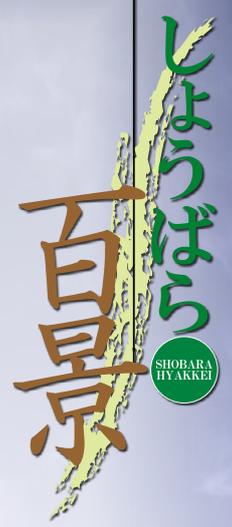


(平成 29 年 1 月撮影)

Vol.63

懐かしの里

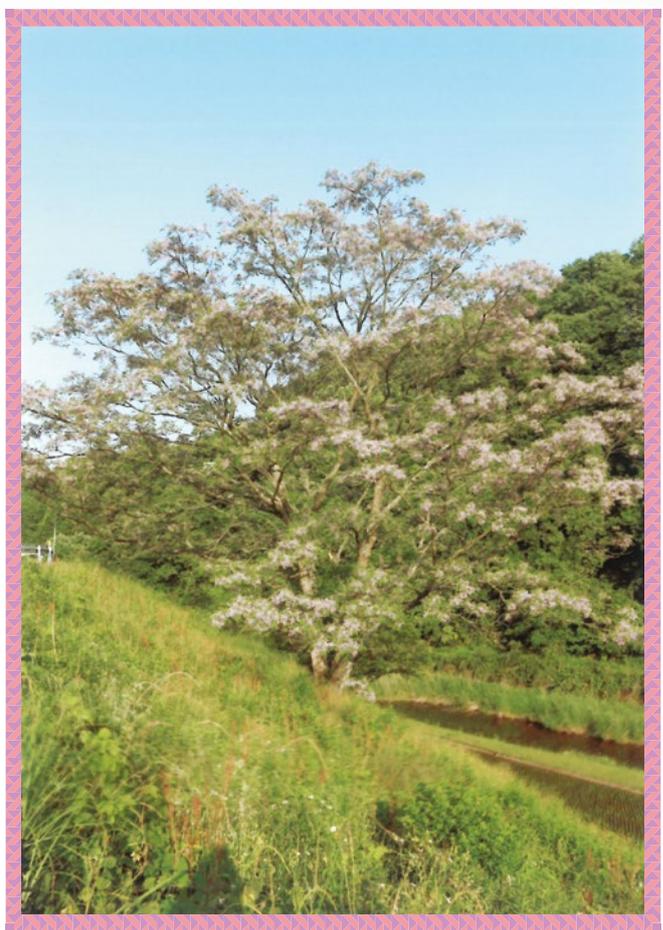


この日は寒さも緩み、標高623メートルの焚火山も霧がかかっています。ここは、東城町川西です。

手前には収穫されなかつたユズが木に残り、療養中の私に、今年もまた新しい実がつくように、必ず春が来るのでじっと待っているように、語りかけているかのようです。

カメラを操作したことのない私は、この写真をタブレット端末で写したのですが、側溝に落ちたので1枚しか撮れませんでした。出来栄えも何もあつたものではありませんが、ユズの実に、身近にある自然の偉大さの懐の中で生活できていることを実感し、感銘を受けました。

重光 洋子 (東城町)



(平成 28 年 5 月 31 日撮影)

Vol.64

下谷のセンダンの大木

実留町下谷地区の中心に県道三次庄原線が走り、そののり面に、私たち下谷自治会が自慢し、また宝として守り世話をしている「下谷のセンダンの大木」があります。草刈りや周辺の草花の植栽にも取り組み、地域の玄関として環境の美化に努めています。

また、この大木は根元が7本に分かれているのが特徴で、

文 吉政 久司 (実留町)
写真 谷口 美雪 (実留町)

庄原市の天然記念物に指定されています。

車を降りて休憩される方も多くなつてきました。5月から6月にかけて、小さな紫の花をいっぱいにしたセンダンの大木が、お待ちしています。